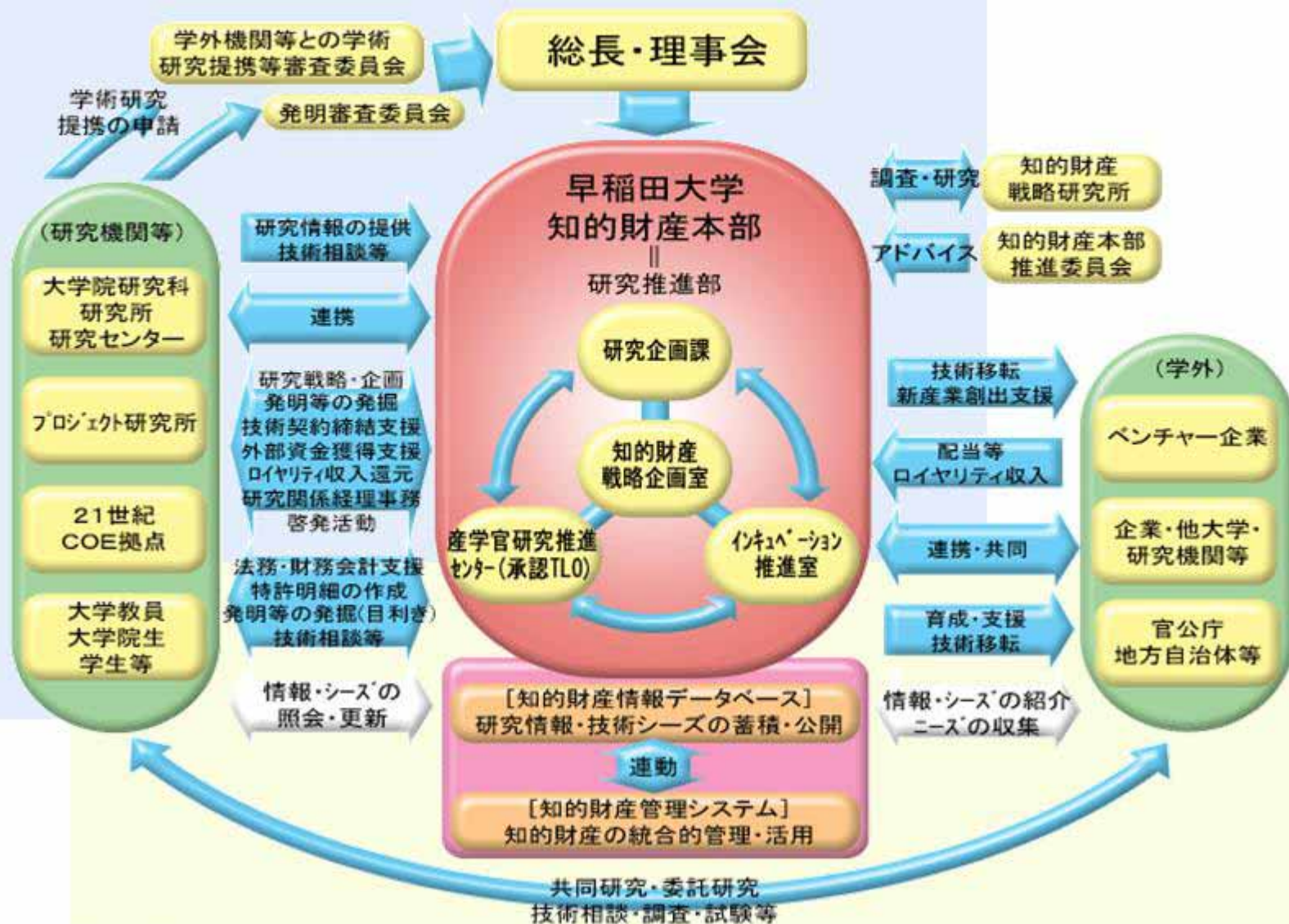


2-2. 知財活用・産学官連携の推進体制

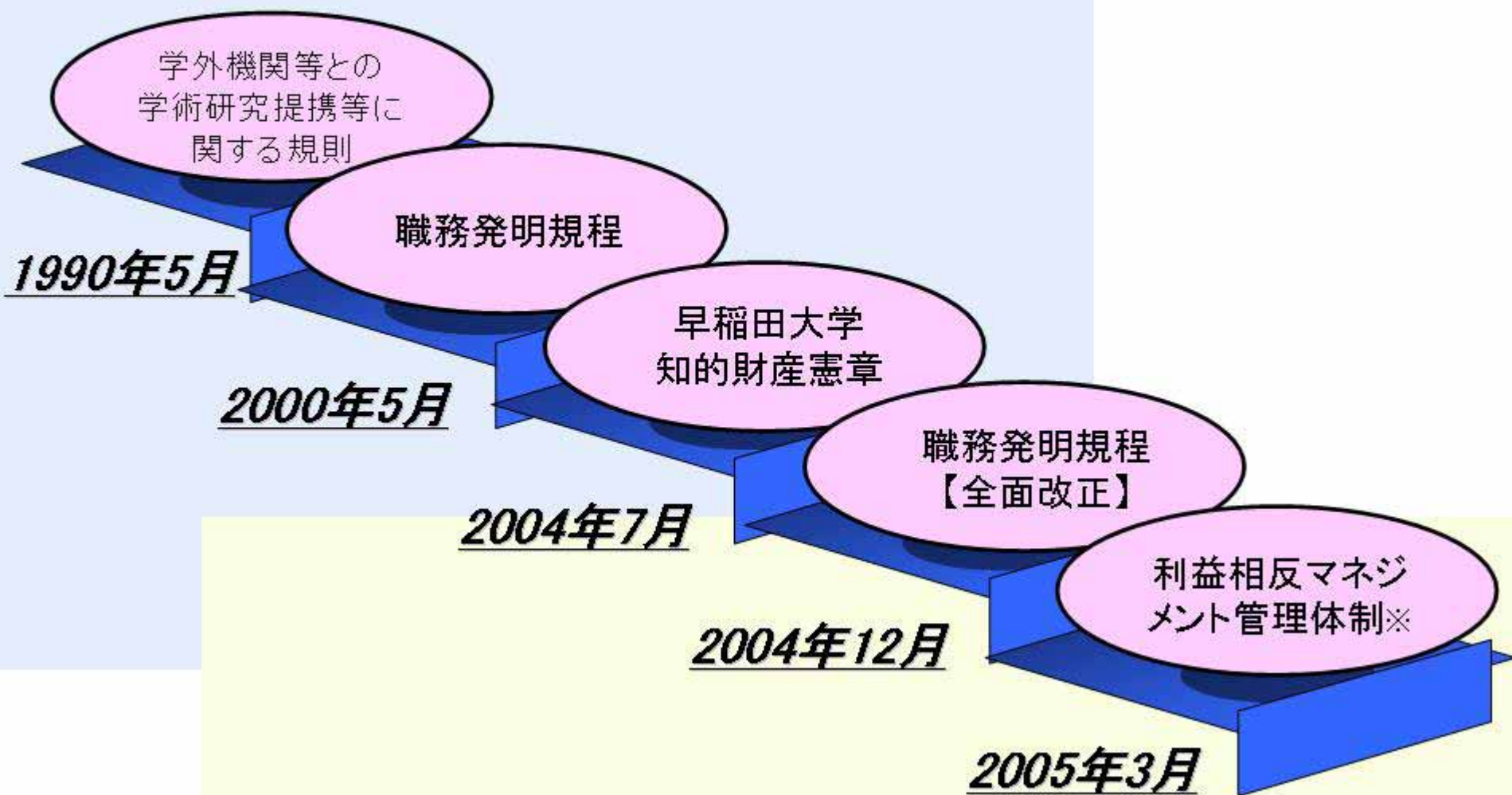


2-3. 早稲田大学の知財戦略

1. 早稲田大学は、建学の理念に則り、学問の自由と独立を堅持し、世界に誇る知の拠点として、真理の探究と学理の応用に努める。それらの成果として、優れた知的財産を不断に創出し、もって世界の学術文化の増進に多大なる貢献を果たす。
2. 早稲田大学は、自己の創出した知的財産の重要性を深く認識し、これらの蓄積を進んで活用し社会に還元することにより、学術文化の増進とともに、世界の平和、人類の福祉および社会の発展に資する。
3. 早稲田大学は、知的財産に係る活動について、国内外の多様な機関や個人との連携協力を積極的に推進する。これにより、関連する資源などを最大限に活用し、学術および社会的貢献を果たすとともに、本大学の教育研究活動などの一層の活性化を図る。
4. 早稲田大学は、知的財産に係る活動に対して、果敢かつ着実に取り組む人材を育成し輩出する。これにより、自己および他者の創出した知的財産を尊重し、学術や社会の発展に役立てる精神と能力とを有する人材が、世界の多分野で活躍することを目指す。
5. 早稲田大学は、知的財産全般について、適切な管理運営を行うとともに、関連する情報を幅広く学内外に開示する。これにより、知的財産のより効果的な活用を図るとともに、大学に課せられた説明責任を果たし、厳正な点検評価とその実践への反映に資する。

(早稲田大学知的財産憲章より)

2-4. 知財ルール・指針の策定

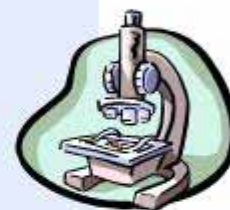


※2005年度中より実施予定

2-5. 産学官研究推進センター（承認TLO）の活動内容

■ 特許化活動

- ・発明相談
- ・発明の発掘、先行技術調査、技術評価
- ・特許出願、特許維持、特許管理

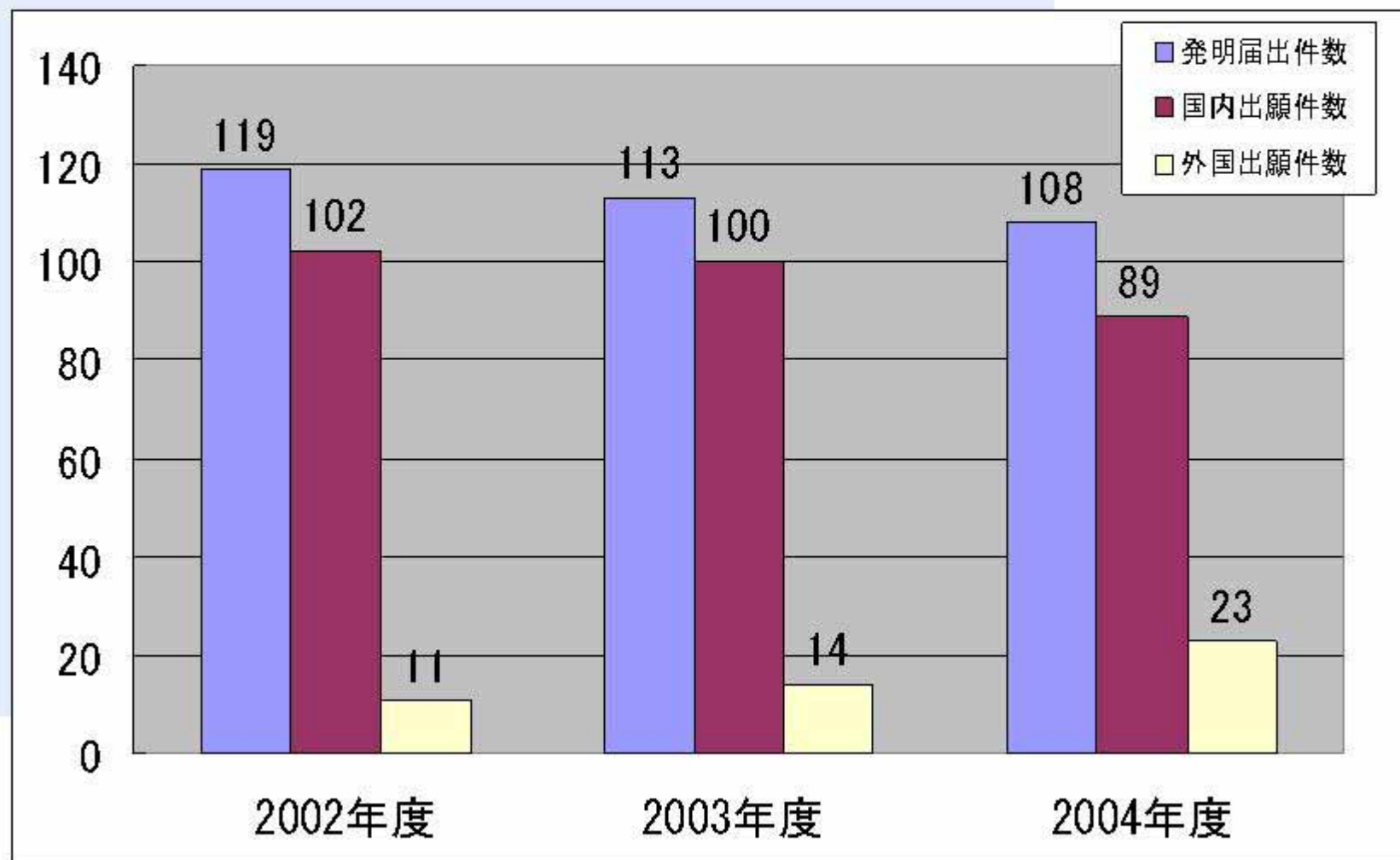


■ 技術移転活動

- ・企業ニーズと大学の研究・技術シーズを繋ぐコーディネート
- ・契約書作成
- ・契約交渉締結
- ・ロイヤリティ収入の発明者への還元

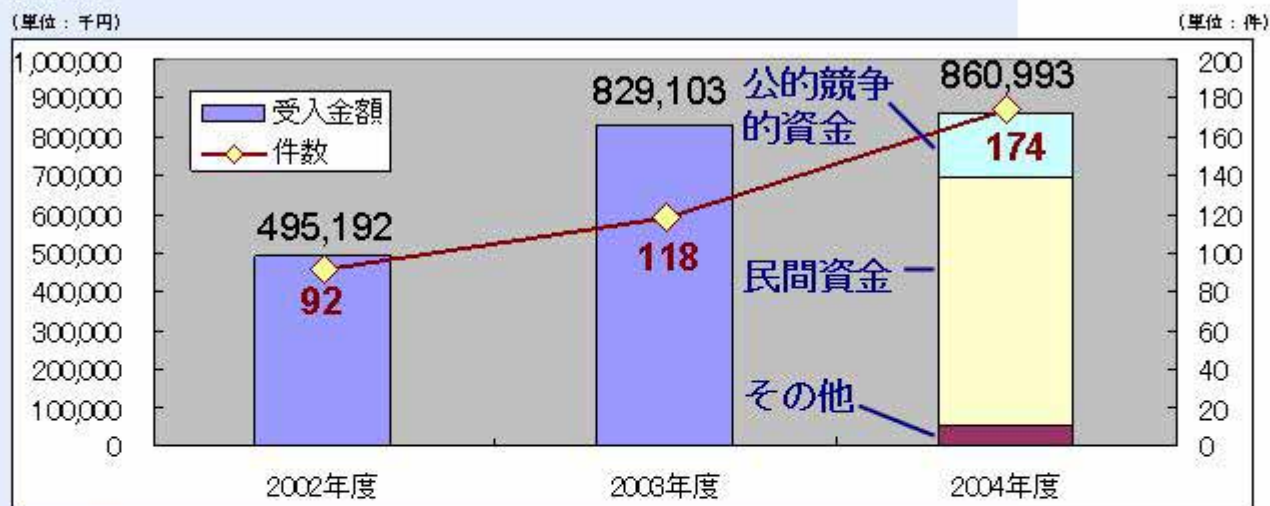


2-6. 承認TLOの活動実績



2-7. 産学官連携の活動実績

<共同研究>



<受託研究>

